

桃山小学校 教育目標

京都市立桃山小学校

自律・自立し、明日を拓く力の育成

やさしく（豊かな心）・かしこく（確かな学力）・たくましく（健やかな体）

目指す子ども像

- （も）目標に向かう子
- （も）物を大切にする子
- （や）やさしい子
- （ま）まじめな子

目指す教職員像

“チームももやま” 共通実践する教職員

- 主体的に企画・立案し、各立場から確実に行動化する
- 多面的な指導で子どものバランスのとれた育ちを保障する

◇主体的に資質向上を目指す

- ・セルフランーニング（自己研鑽・相互研鑽、校内研修、外部研修）
- ・授業力向上（言語活動の重視、学習規律の徹底）

◇子どもの個性や良さを認め・伸ばし、関わり合う力を育てる

- ・確かな実態把握・他者のせいにしない姿勢・指導しきる粘り強さ
- ・豊かな子ども理解と日常的なふれあいを通しての信頼関係の構築

◇子どもの健康・安全に気を配り、保持増進を進める

- ・心身の成長や健康増進のための継続的な実践
- ・地域ぐるみの子どもの安全を担う一員であるとの認識

目指す学校像

「楽しく実りのある学校」

教育力の全てを子どもに集める

教職員の協働 地域・保護者と協働 他校種と協働

期待の登校 満足の下校